

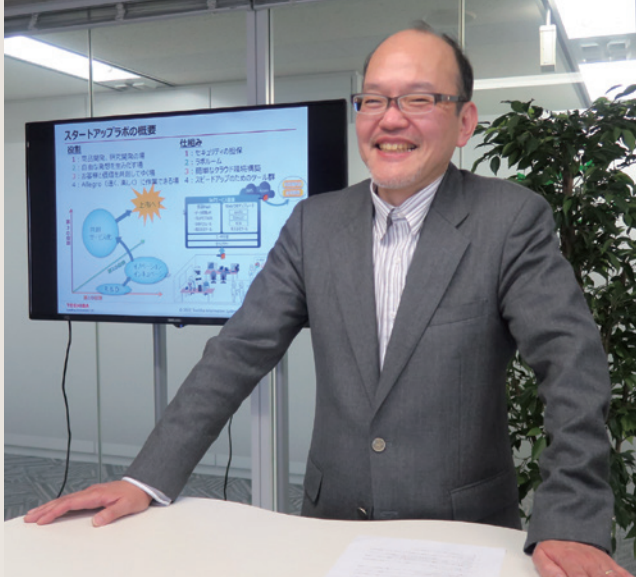


PERSON

[人]

技術マーケティング部
マーケティング・商品企画担当 参事

中屋 和之



スタートアップラボでお客様と共に 新しい価値の創造を

お客様とのビジネス共創を推進するラボ

入社して約30年、当初は組込みシステム開発に従事し、人工衛星との通信プログラムや自動車のエンジン制御、自動券売機に至るまで、さまざまな機器の制御プログラムを開発してきました。その後、Webアプリケーションの開発にも携わり、現在は、エッジデバイスからのデータを蓄積・分析するIoTサービス基盤をクラウド上に構築する研究開発に取り組んでいます。

当社は、2017年夏に、IoTサービスをはじめとした事業ドメインを横断する融合商品創出を目的として「スタートアップラボ」を開設しました。次の4つを役割としています。

- (1) 研究開発や商品開発、サービス試行が簡単に行える場
- (2) 事業の垣根を越えて自由な発想でイノベーションを生む交流の場
- (3) クラウド上でお客様とセキュアに繋がり、付加価値の共創ができる場
- (4) Allegro（速く、楽しく）に作業でき、新規事業創出ができる場

こうした役割を果たすため、ラボではマルチクラウド環境を整え、IoTサービス基盤を利用し、各種エッジデバイスを接続して容易に製品・サービスの試行ができる場にしています。自由の中にも一定の節度を保つための強固なセキュリティ、ちょっとした思い付きやアイデアを形にするなど自由な発想ができるよう配慮した作業空間、クラウド上でお客様と共創する環境を容易に構築・運用できるインフラ、開発のスピードアップや工数削減を図る各種ツールといった仕組みを用意するなど、今まで当社になかった作業環境を実現しています。



ユニークなデスクやチェアを揃えたラボ室内

知識と経験をラボに最大限に活かして

ラボ内は、複数の大手クラウドサービスと直接接続しているほか、キャリア網を利用したVPN接続も使えます。また、お客様も安心して利用できるセキュリティを担保した環境を特徴としています。現在は、それぞれの業務に応じて、例えば3Dプリンターで作成した試作デバイスの動作検証を行ったり、クラウドサービスを試したり、といった使われ方をしています。さらには、こうした研究開発利用だけにとどまらず、お客様との共創目的で、互いのラボ環境を相互接続する仕組みを構築する取り組みも行われています。

ラボを運用するためには、私自身もクラウド、ネットワーク、セキュリティなどの技術に精通していることが不可欠だと考えています。過去の業務で得た知識、培ってきた経験を活かすことはもちろん、当社の専門知識を持つ有識者の協力を得てレベルアップに努め、お客様や社内のメンバーが安心して利用できるラボにすることが役割であると気を引き締めています。このほか、利用者の座り心地を考慮した椅子を導入するなど、新しい経験も楽しませていただいています。

今後は、クラウド上でのサービス展開が当たり前となり、さらなる短期開発も求められるでしょう。ラボはそうしたお

客様や社内の要求に応えるべく、マルチクラウド化したプラットフォームをベースに、より簡単かつ素早いサービス展開ができるよう、進化を続けていかねばなりません。このスタートアップラボに、LSI設計から組込み、Web開発まで、当社の高い技術力を集結させ、お客様との新しい価値創造に邁進できるよう支援していきます。

Vol.23 2018年5月7日発行



発行人：長田 茂
発行：東芝情報システム株式会社
〒210-8540 川崎市川崎区日進町1番地53（興和川崎東口ビル）
連絡先：技術マーケティング部
E-mail wave@tjsys.co.jp URL <http://www.tjsys.co.jp/>



本技術誌は、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC認証紙」と、「植物油インキ」を使用しています。